

今後のニーズ・シーズ調査について

○ニーズ・シーズ調査の流れ	1
○アンケート調査（民間事業者団体）	2
○ヒアリング調査（一部有識者）	3
○ヒアリング調査（実務者）	4
○ご意見いただきたいこと	5



令和8年8月
内閣府防災担当

ニーズ・シーズ調査の流れ



災害対応機関等

運用部署

調達部署



住民・一般企業等



開発事業者
(メーカー等)

8/26

第2回会議 ニーズ・シーズ調査中間報告

・文献調査

ニーズ・シーズの網羅的な基礎調査



・ヒアリング調査（一部有識者）

- ・文献調査で把握できなかったニーズの把握

- ・潜在的なニーズの把握

- ・有望技術や導入障壁把握 等



・アンケート調査（民間事業者団体）

- ・開発、普及時の課題把握
- ・新製品・サービスの把握 等



・ヒアリング調査（実務者）

- ・文献調査で把握できなかったニーズの把握

- ・技術テーマ（案）の抜け漏れ確認

- ・アンケート方法の適切性確認 等



10/14

第3回会議 ニーズ・シーズ調査報告、開発促進の求められる技術テーマ（案）を提示

・アンケート調査（自治体）

- ・技術テーマ（案）の優先度の把握

- ・導入、運用時の課題把握 等



・ヒアリング調査（関係者）

- ・優先度の高いと想定される技術テーマ（案）を選定

- ・選定した技術テーマ（案）に応じて、調査対象を設定

- ・開発や導入運用での課題等を調査・分析



11/30

第4回会議 開発促進の求められる技術テーマの整理、促進施策の意見交換



■ 調査の目的

- 民間企業の製品・サービス事例について、文献調査では得られない情報を補完
 - 開発、普及時の課題
 - 新製品・サービスの情報 など

■ 調査対象・方法、実施状況

- 複数の民間事業者が加入している業界団体を介したアンケート方式
- 対象団体は、防災分野の製品・サービス等を展開する民間企業が、幅広くかつ多く加入している団体
- 下記が業界団体の候補。いずれも調整中
 - 一般社団法人日本防災プラットフォーム（JBP）
 - 防災コンソーシアム CORE など



■ 調査の目的

- 文献調査では収集が難しいニーズ等について情報を収集
 - 女性、障害者等のニーズや解決課題
 - 潜在ニーズ、未曾有の災害での解決課題
 - 上記課題の解決に資するシーズや、それらを導入する上での障壁 等

■ 調査対象・方法、実施状況

- 本委員会の委員等へのヒアリング（オンライン、面談等）
- 男女共同の観点で、委員へのヒアリング1件を先行的に実施

No.	ご意見（抜粋）
1	平時から使っているものを災害時にも利用できれば、利用者は使いやすく、かつ安価に取り入れられる。例えば、乳幼児の母親が使うアプリに災害時の機能を搭載することが考えられる。
2	既存のマンホールトイレを訓練で使用した際、トイレットペーパーの位置が悪く一部の方は取りにくい、予備のトイレットペーパーが汚れやすく不衛生であるなどの問題が明らかになった。国が一定の基準を定め、その基準を満たした商品が普及することが望ましい。
3	電気と水、そしてトイレの問題が重要な観点。



■ 調査の目的

- 文献調査結果にもとづき、開発促進の求められる技術テーマ（案）を整理する過程において、整理状況の妥当性、および、実施予定のアンケート調査のフィージビリティの確認
 - 文献調査で把握できなかったニーズの把握
 - 整理過程の、開発促進の求められる技術テーマ（案）における、抜け漏れ等のチェック
 - アンケート調査の実施方法（質問のベースとなる素材、調査方法・項目等）の妥当性確認

■ 調査対象・方法、実施状況

- 規模、地域特性等の異なる数自治体を選定
- オンラインにて30分～1時間程度の説明およびヒアリング。後日に追加意見をメールで回収



■ ニーズ・シーズ調査について

- 文献調査の今後の進め方
 - 対象とする文献・DB等
 - 整理項目 等

- アンケート調査（民間事業者団体）の今後の進め方
 - 対象とする団体
 - 調査項目 等

- ヒアリング調査（一部有識者）、ヒアリング（実務者）の今後の進め方
 - 対象とする方、団体
 - 調査項目 等

- そのほか
 - 調査方針全般 等